

# 9月の園だより

学校法人志賀学園  
認定こども園  
平第一幼稚園  
令和6年8月30日

朝晩は少しずつ涼しくなってきましたが、日中はまだまだ暑い日が続いております。

先日は、台風第7号の影響に伴い、いわき市より「高齢者等避難指示」が発令され、臨時休園の措置を取らせていただいた際には、保護者の皆様のご理解・ご協力ありがとうございました。

さて、8月26日（月）から2学期が始まりました。始業式の際に子どもたちにお話をした中で「自分の気持ちを先生やお友だちに伝えられるように頑張りましょう」と伝えました。2学期は祖父母参観や運動会、作品展に生活発表会と楽しい行事がたくさんあります。そのクラスという一つの集団の中で、自分の気持ちを伝えたり、受け止めたり、時には喧嘩をしたりと様々な情緒的学びを経験します。そうすることで「相手の気持ちを理解する」、「自分という存在を主張する」といった成長に繋がっていくので、「遊び」や「活動」から学ぶことを大切にしていけるよう先生たちとも日々話し合いを行い、主体的な学び・保育ができるよう取り組んでいます。

また、8月23日（金）は、福島県幼稚園・こども園連合会の教員研修大会がありました。保護者の皆様には、職員研修ということで希望保育のご協力をいただきありがとうございます。教員研修大会は福島県の幼稚園・こども園の先生が集まり、各分科会に分かれ、それぞれのテーマに合わせて2学期の保育に生かしていけるよう研修に参加して参りました。

私の分科会では、「保育の振り返り」を主な内容として研修を受けました。子どもたちと関わる中で、遊び方や子どもたちへの声掛けなど何気ない関わりを放課後に先生たち同士で意見交換をし、振り返り、評価・改善していくことが大切であることを再認識できた研修でした。平第一幼稚園でも放課後や次の日の保育準備の際に先生同士でクラスの保育や関わり方などを話し合う時間を設け、日々の振り返りをしています。これからも引き続き、より良い保育に繋がっていきやすいようにしていきたいです。

7月にばら組さんと、泥んこ遊びを楽しみました。汚れることを気にせずに思いっきり遊ぶ姿に担任の先生たちも一緒に楽しみました。

この日は前日に雨が降ったこともあり、広範囲に水たまりができ、広々と遊ぶことができました。

保護者の皆様には、お洗濯のご協力をいただきありがとうございます。平第一幼稚園としては、泥んこ遊びを行事活動として取り入れるのではなく、プール遊びの期間には全身で水の感触や水と砂が混じり合う様子や水が弾いたり、波紋を起こしたりする様子など五感を使って楽しめるよう普段の遊びの中で取り入れていけるよう先生方と話し合いをしました。保護者の皆様には、ご家庭でのお洗濯などご協力をいただくことがありますが、幼児期の子どもたちの成長過程に必要な1場面ですので、何卒ご理解とご協力をいただければと思います。プール期間が終了したら全身での泥んこ遊びではなく、砂場で川作りをしたり、ままごと遊びに応用したりと季節に合った遊びに変換して楽しんでいきますのでよろしくお願いたします。



## 「9月の子どもの特性」【自己主張期】

さくら組では、7月頃からかけっこ遊びを楽しむ中で、少しずつ勝ち負けに対して「悔しい」、「勝ちたい」といった気持ちが強くなってきた子どもたち。一方で走ることを純粋に楽しむ子とそれぞれの思いで楽しんでいた1学期でしたが、2学期を迎え、去年さくら組さんがリレーを運動会にしていたことを思い出し、今はさくら組さんでリレー遊びが盛り上がっています。担任の先生は、リレー遊びの中で子どもたち同士でチームや走順が決められるきっかけを作れるように、先生が全てを決めるのではなく、子どもたち同士で意見を出し合い、話し合いがもてるよう子どもたちの話す様子を見守るようにしています。もちろん、初めのうちはそれぞれの主張を通そうと「ぼくが一番最初がいい!」とそれぞれの思いが強く、なかなか決まらなかったり、折り合いがつかずに喧嘩になることもありますが、この姿こそ、「仲間意識」といった「相手の思いに気づく」という心の成長に必要な体験になるので、これから子どもたち同士で何度も走順や勝つためにはどうしたらいいのかなど話し合いを繰り返しながら、リレーを行って行く中で自然とクラスの気持ちが一つになり、集団行動でした得ることのできない経験を積んでいくことになると思いますので、ご家庭でお子さんがリレーの話や日々の園での話をした際には今のお子さんの気持ちを受け止めて頂き、ご家庭でも気持ちを共有していただければと思います。

坂本 卓哉